5年	科目	学外実習Ⅵ	実習	通年	担当	長澤　正氏
電子制御工学科		Off-Campus Training Ⅵ	選択	1履修単位		NAGASAWA MASASHI

授業の概要

本学科の教育目標「C.工学的な解析・分析力、およびそれらを創造的に統合する能力」、「D.論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力」、および「E.与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力」を養うために、企業など学外において専門的な作業を実施する。

本校学習・教育目標（本科のみ）		目標	説明
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度
		2	自然科学の成果を社会の要請に応えて応用する能力
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力
	○	5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢

プログラム学習・教育目標（プログラム対象科目のみ）	実践指針（プログラム対象科目のみ）	実践指針のレベル（プログラム対象科目のみ）
E. 産業の現場における実務に通じ、与えられた制約の下で実務を遂行する能力並びに自主的及び継続的に自己能力の研鑽を進めることができる能力と姿勢	(E1) 工学技術に関する具体的な課題にチームで取り組み、その中で担当する実務を適切に遂行することができる。	(E1-4)工学技術に関する具体的な課題にチームで取り組む際、チーム内のメンバーの役割を把握し、コミュニケーションにより自己の進捗状況を正確に伝え、メンバーの進捗状況も把握できる。

授業目標

1. 社会人としての基本的なマナーを遵守したコミュニケーションができる。
2. 企業における業務の遂行方法（開発手順、作業手順、文書管理など）について説明できる。
3. 一日の作業内容を的確に報告できる。

授業計画

第1回		受け入れ先との協議による。
第2回		
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

評価方法と基準	(1)口頭試問により社会人としてのコミュニケーションマナーを評価する。 (2)実習報告書の内容とそれに関する口頭試問により、企業における業務の遂行方法を説明できるかを評価する。 (3)作業日誌により、一日の作業報告が的確にできるかを評価する。 実習報告書（70%）、口頭試問（20%）、自己評価（10%）
教科書等	
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE 、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。